

分野（領域）	統合分野	科目名	在宅看護方法論Ⅱ
単位（時間）	1（15時間）	開講時期	1年次 2年次 3年次
講師	専任教員		
科目目標	1. 在宅看護過程を展開していく際のポイントを理解し、その展開方法について理解する。 2. 事例を通して在宅で療養している対象の看護を理解し、在宅看護に必要な知識・技術を統合する。		
【講義内容】 第1章 地域・在宅看護の展開 第3章 地域・在宅看護の介入時期別の看護の実際 A 在宅看護過程展開のポイント B 在宅看護過程の展開方法 C 療養上のリスクマネジメント D 在宅看護における権利保障 第4章 疾患・状況別の地域・在宅看護の実際 A 在宅看護介入時期別の特徴 B 脳卒中をおこした患者の在宅療養導入の事例展開 C パーキンソン病の療養者に対する在宅看護の事例展開 D 認知症の療養者に対する在宅看護の事例展開 E 小児の療養者に対する在宅看護の事例展開 F ALSで人工呼吸療法を実施する療養者の在宅看護の事例展開 G COPDの療養者に対する在宅看護の事例展開 H 独居の療養者に対する在宅看護の事例展開 I 終末期（がん）の療養者に対する在宅看護の事例展開 J 統合失調症の療養者に対する在宅看護の事例展開			
【テキスト／参考文献】 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の実際 第3章 第4章			
【評価】 学科試験 レポート；100点をもって満点、60点をもって合格とし、60点未満を不合格とする			